

社会資本整備審議会 道路分科会 第8回北海道地方小委員会

議事概要

1. 日 時 平成26年7月30日(水) 9時00分～10時45分

2. 場 所 札幌第1合同庁舎 10階共用第3・4号会議室

3. 出席者

[委員長]

加賀屋 誠一 室蘭工業大学 理事・副学長

[委員]

臼井 純子 (株)富士通総研 イクゼクティブコンサルタント PPP推進担当理事

越澤 明 北海道大学 名誉教授

田村 亨 北海道大学大学院 教授

平岡 祥孝 札幌大谷大学 教授

古屋 温美 室蘭工業大学 准教授

山崎 幹根 北海道大学公共政策大学院 教授

4. 議 事

(1) 計画段階評価について 帯広・広尾自動車道(大樹～広尾)

【委員からの主な意見】

- ・北海道全体の中での位置づけ、当該区間の優先性が分かる資料を補強していくべき。
- ・当該路線の重要度・優先度が高いことを示すためにも、将来の地域ビジョンなども含めて、もう少し前向きな面を打ち出していくことも必要では。例えば、十勝エリアは農業立国が可能であることを強調するなど。
- ・十勝の農業は全国的にも有名で競争力があるので、国内で1番と言うだけでなく、海外と比較しても良いのでは。
- ・地域意見聴取において、学校関係者等、幅広い世代に聞くことも必要なのでは。
- ・道路の役割を一般の方々にも分かりやすく伝えるため、道東道等を事例に示しつつ、地域意見聴取をしてはどうか。
- ・十勝港について、同じ太平洋側にある釧路港、苫小牧港も含め、それぞれの港の役割・使われ方等について確認しておく必要があるのではないか。

【委員長による総括】

- ・意見を踏まえた形で意見聴取を行い、次回地域意見も踏まえた政策目標案等を提示していただきたい。

以上